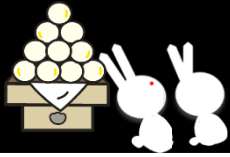


減量推進員ニュース



発行:茨木市 産業環境部 資源循環課
 TEL:072-620-1814 FAX:072-627-0289
 E-mail:shigenjunkan@city.ibaraki.lg.jp

お知らせ 10月は3R推進月間・食品ロス削減月間です。

3Rとは、ごみを減らすために大切な3つの行動の頭文字をとって作られた言葉です。



リデュース Reduce

『一番大切なR ごみを減らす』

- ◆食事は残さず食べる。
- ◆詰め替えなどの減量に配慮した商品を選ぶ。
- ◆買い物はマイバックを持参する。

リユース Reuse

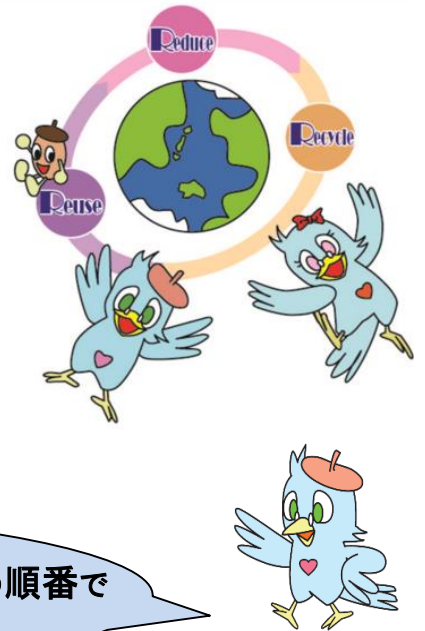
『次に大切なR 繰り返し使う』

- ◆壊れた物は修理して長く使う。
- ◆フリーマーケット、レンタル、リサイクルショップなどを積極的に使う。

リサイクル Recycle

『3つめに大切なR 資源として再生利用』


- ◆資源物とごみは、きちんと分別して出す。
- ◆地域の集団回収に協力する。



3Rは **1.Reduce** → **2.Reuse** → **3.Recycle** の順番で
 取り組むことが重要です！

食品ロス削減月間

令和元年5月に成立した「食品ロスの削減の推進に関する法律」により、10月は食品ロス削減月間、10月30日は食品ロス削減の日と定められました。食品ロスは皆さまのちょっとした心がけて、減らすことができます。食品ロスの削減を推進するため、みなさまのご協力をお願いします。

買い物では・・・	家庭では・・・	外食では・・・
<p><u>必要な食材を事前に把握し、計画的に、必要なものを買おう。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆買い物前には冷蔵庫をチェックし、買いすぎや買い忘れを防止するため、スーパーにはメモを持参しよう。 ◆少量パックやバラ売りを上手に活用しよう。 ◆すぐ使うものは出来るだけ手前に陳列されている食品をとろう。 	<p><u>作り置きや冷凍など保存方法を工夫し、食材を使いきろう。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆冷蔵・冷凍・常温など食品に適した方法で保管し、野菜などの傷みやすい食品は早めに使い切るようにしよう。 ◆野菜や果物の皮はなるべく薄くむき、食材によっては、茎や皮も調理して無駄なく使おう。 ◆食べきれぬ量を調理して、作りすぎないようにしよう。 ◆賞味期限を正しく理解し、期限を過ぎてもすぐに廃棄せず、食べられるかどうか判断しよう。 	<p><u>適量を食べ、分け合いましょ。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆食べきれぬ量のメニューを注文しましょう。 ◆食べられないものを事前に伝えましょう。 

「雑がみ」とは、新聞（折り込みチラシを含む）・雑誌・段ボール・飲料用紙パック以外のリサイクルできる紙のことです。**雑がみは普通ごみの日に生ごみ等と一緒に出してしまうのではなく、紐でしばって古紙の日に出しましょう!!**

◆◆ 雑がみの一例 ◆◆



ちらし・コピー用紙

紙以外の粘着テープ、プラスチック、金属などの付属品は「雑がみ」と一緒に出さないでください。

値札

紙袋



包装紙



ティッシュ箱のビニールは取り除く

お菓子・ティッシュなどの箱



台紙類

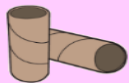


ビニールやセロハンは取り除く

金具は取り除く

※個人情報の取扱いにご注意ください

封筒はがき（圧着はがきは除く）



ラップ・トイレトペーパーの芯



カレンダー

これらは **古紙・古布** の日に出してください。

◆◆ リサイクルでない紙の一例 ◆◆



紙コップ・紙皿



アイスなどの紙製容器



レシート・FAXなどの感熱紙



アイロンプリント紙



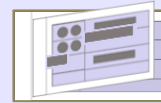
写真



シュレッダーした紙



紙パック識別 圧着はがき



カーボン紙



汚れた紙



圧着はがき



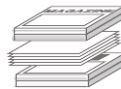
臭いのついた紙

これらは **普通ごみ** の日に出してください。

雑がみの出し方



いらなくなった雑誌の間に挟む



ひもで結んで、古紙の回収日に出そう

(雑誌がない場合はつぶした紙箱などで挟む)



お知らせ

東京五輪のメダルは皆さんの小型家電からつくられています

世界中のアスリートが一堂に会する東京オリンピック・パラリンピックで、熱戦を制したアスリートが栄誉の証として手にする金・銀・銅メダルは皆さんのご家庭で不用になったパソコン・携帯電話等の小型家電を回収(2017.7.1~2019.3.31)し、抽出された金属から作られました。

茨木市では、引き続き、小型家電のリサイクルを行っています。ご家庭で不用になったパソコン・携帯電話等の小型家電を処分する際は下記の方法をご利用ください。

【方法①:ボックス回収】

茨木市では、市内6か所で小型家電(パソコン・携帯電話等の家電品全般)の拠点回収を実施しています。



▲ 小型家電・水銀使用製品回収ボックス

【方法②: 宅配便による回収】

国の認定事業者である「リネットジャパンリサイクル(株)」と協定を締結し、パソコンの宅配便による無料回収を行っています。モニター、プリンタなどの周辺機器、その他の小型家電も一緒に回収可能です。

<詳しくは>

リネットジャパンリサイクル(株)のホームページ

<http://www.renet.jp> (「リネットジャパン」検索)

もしくはお問い合わせ専用窓口

☎ 0570-085-800 (10時~17時) にお問い合わせください。